

平成27年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果の概要

【狭山市立小学校・中学校】

埼玉県学力・学習状況調査は、埼玉県内の小中学校を対象とした学力調査として、本年度から新たな形で実施することとなりました。本調査は、小学校4年生以上の児童生徒を対象に毎年実施されます。そのことにより、「児童生徒一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点で、教師が一人一人の学力の伸びを把握できることや児童生徒が学力の伸びを実感することによって、自信をもって学習に参加することにつながります。このような『一人一人の学力の伸び』に注目した調査は、全国でも初めての取組となります。

狭山市教育委員会では、全国学力・学習状況調査と同様に、本調査の結果を踏まえ、教育施策等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導のより一層の充実に努めてまいります。さらに調査結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、本市の児童生徒の学力と学習状況の現状や向上策についてご理解をいただき、今後も引き続き、学校教育に対するご支援とご協力をお願いするものです。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

※埼玉県教育委員会HPでも、本市の結果を公表する予定です。

埼玉県教育委員会「埼玉県学力・学習状況調査」に関するHPアドレス
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>)

1 調査の概要

- ・実施日 平成27年4月16日(木)
- ・調査の対象
 - ①調査学校数 小学校708校(狭山市15校) 中学校360校(狭山市9校)
 - ②調査児童・生徒数 小学4～6年生 150,310人(狭山市3,461人)
中学1～3年生 148,013人(狭山市3,596人)
- ・調査の内容
 - ① 児童生徒に対する調査
 - ア 教科に関する調査
小学校4年生から中学校1年生 国語、算数(数学)
中学校2年生及び3年生 国語、数学、英語
 - イ 質問紙調査(生活習慣や学習環境等及び規律ある態度に関する事項)
 - ② 学校及び市町村教育委員会に対する調査
 - ア 質問紙調査(学校における教育活動並びに学校及び市町村における教育条件の整備等に関する事項)

2 教科に関する調査の結果（各教科での平均正答率 [%]）

（1）小学校

国語		4年生		5年生		6年生	
		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県
平均正答率		60.0	62.0	72.2	72.8	67.3	69.0
平均正答率 領域等別	話すこと・聞くこと・書くこと	42.6	47.2	64.8	68.6	58.5	63.8
	読むこと	50.5	53.5	73.2	73.7	72.1	73.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.2	69.1	73.1	73.1	66.4	67.2
平均正答率 観点別	国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-
	話す・聞く能力	52.0	56.0	75.1	78.3	71.1	75.6
	書く能力	23.8	29.6	44.1	49.1	33.4	40.2
	読む能力	50.5	53.5	73.2	73.7	72.1	73.9
	言語についての知識・理解・技能	68.2	69.1	73.1	73.1	66.4	67.2

算数		4年生		5年生		6年生	
		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県
平均正答率		66.3	67.2	67.2	66.5	59.3	59.3
平均正答率 領域等別	数と計算	67.2	68.4	74.8	73.5	66.1	66.1
	量と測定	62.9	63.9	51.0	53.3	51.7	52.5
	図形	55.3	55.3	61.0	58.3	60.5	59.4
	数量関係	77.9	78.2	70.2	69.5	51.2	51.0
平均正答率 観点別	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-
	数学的な考え方	36.6	37.3	41.5	39.8	32.5	33.8
	数量や図形についての技能	77.8	79.6	74.4	73.4	69.6	69.0
	数量や図形についての知識・理解	67.6	67.9	67.7	67.3	59.2	59.2

(2) 中学校

国語		1年生		2年生		3年生	
		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県
平均正答率		70.6	70.6	64.6	66.5	62.9	63.9
平均正答率 領域等別	話すこと・聞くこと・書くこと	67.3	69.6	71.2	72.9	63.6	65.6
	読むこと	73.8	74.1	68.4	70.3	67.1	67.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.4	69.0	61.4	63.4	60.5	61.7
平均観 正答率	国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-
	話す・聞く能力	76.3	77.6	82.7	84.0	62.4	63.8
	書く能力	49.3	53.6	48.1	50.6	66.1	69.1
	読む能力	73.8	74.1	68.4	70.3	67.1	67.5
	言語についての知識・理解・技能	69.4	69.0	61.4	63.4	60.5	61.7

数学		1年生		2年生		3年生		
		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県	
平均正答率		58.7	58.1	49.8	49.5	47.6	47.1	
平均正答率 領域等別	小学校	数と計算	62.6	62.4	58.8	59.4	-	-
		量と測定	64.1	63.2	57.2	57.2	-	-
		図形	51.9	50.8	47.2	48.8	-	-
		数量関係	51.5	51.2	54.5	52.6	-	-
	中学校	数と式	-	-	60.2	58.1	58.2	56.6
		図形	-	-	46.5	45.9	56.0	55.9
		関数	-	-	38.2	38.8	29.0	30.0
	資料の活用	-	-	23.4	26.1	34.6	34.4	
平均観 正答率	小学校	算数への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-
		数学的な考え方	42.1	43.2	51.8	54.9	-	-
		数量や図形についての技能	64.5	64.0	55.7	55.6	-	-
		数量や図形についての知識・理解	61.0	59.6	55.6	55.5	-	-
	中学校	数学への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-
		数学的な見方や考え方	-	-	17.8	18.9	24.6	23.9
		数学的な技能	-	-	50.9	49.3	50.5	49.2
		数量や図形などについての知識・理解	-	-	49.4	50.1	48.6	49.1

※数学の調査においては、1年の内容は小学校の学習内容から出題されています。また、2年においても一部小学校の学習内容から出題されています。

英語		2年生		3年生	
		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県
平均正答率		69.8	70.1	67.9	66.0
平均 領域 正答 率	聞くこと	78.4	77.1	73.2	70.5
	話すこと	-	-	-	-
	読むこと	69.7	70.5	67.1	65.8
	書くこと	57.5	58.9	63.2	60.1
平均 観点 正答 率	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	87.1	87.1	69.5	62.3
	外国語表現の能力	49.1	49.6	62.7	60.9
	外国語理解の能力	74.8	74.8	71.0	69.0
	言語や文化についての知識・理解	63.0	63.8	63.6	61.9

3 質問紙調査の結果（抜粋）

※「当てはまる」及び「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)を示しています。

質問事項	狭山市						埼玉県					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
勉強は好きですか。	79.7	73.3	62.2	57.4	31.5	28.2	77.9	69.5	62.1	54.1	31.9	27.4
勉強は大切ですか。	97.3	96.8	97.2	98.1	95.9	95.9	97.4	97.6	97.7	98.4	96.4	96.4
自分にはよいところがあると思いますか。	84.2	82.7	81.3	76.6	70.5	70.1	85.5	83.3	79.9	77.9	71.6	67.6
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	96.7	96.0	96.9	97.1	95.5	95.9	96.6	97.0	96.9	97.3	95.9	95.6
難しいことでも、失敗を恐れな いで挑戦していますか。	89.1	86.6	82.7	78.1	72.4	70.4	89.1	86.6	82.9	79.8	71.6	68.2
将来の夢や目標を持っていますか。	91.3	93.5	87.9	88.6	76.6	72.9	92.3	93.4	90.0	89.5	78.6	75.3
学級(前学年)での生活は、 楽しかったですか。	92.9	92.0	89.0	90.2	88.8	89.7	94.1	91.5	90.7	92.0	90.7	89.6
学校での生活(前学年)には、 満足していましたか。	91.2	92.0	88.3	90.2	84.2	85.1	92.7	91.4	90.1	90.7	86.7	85.5
学校の宿題をしていますか。	96.3	97.0	97.2	95.9	82.0	83.0	96.6	97.0	97.2	95.9	82.0	83.0
学校の授業の予習をしていま すか。	66.2	62.0	55.2	58.2	35.8	35.4	66.1	60.6	56.6	62.0	42.3	39.4
学校の授業の復習をしていま すか。	67.2	67.3	62.4	68.8	44.8	44.2	68.8	66.5	66.2	71.1	56.2	51.2
家の手伝いをしていますか。	79.9	84.2	81.5	77.3	64.2	65.8	79.1	82.2	79.8	78.5	68.1	65.0

4 「規律ある態度」に関する調査の結果（抜粋）

※「している」及び「どちらかといえば、している」と回答した児童生徒の割合(%)を示しています。

質問事項	狭山市						埼玉県					
	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
登校時刻を守っている。	94.8	96.5	97.1	98.7	98.6	98.5	95.3	96.4	96.7	99.3	98.6	98.1
授業開始時刻を守っている。	95.3	95.6	97.7	98.5	95.8	97.9	96.3	97.1	97.8	98.9	98.3	98.5
普段、靴そろえをしている。	89.9	88.8	92.3	94.4	89.2	91.6	88.8	89.9	90.9	95.3	91.9	92.2
いつも整理整頓をしている。	89.6	89.3	90.3	91.4	87.5	88.3	87.0	87.6	87.6	91.7	88.2	88.2
進んであいさつをしている。	81.7	83.1	81.7	83.2	81.3	83.6	84.8	84.5	84.6	87.6	86.6	86.1
進んで返事をしている。	91.6	93.7	92.5	91.6	88.2	90.5	93.3	92.7	92.0	93.6	91.0	90.5
丁寧な言葉遣いをしている。	90.0	90.6	91.3	94.1	90.7	94.2	91.2	91.5	92.0	94.7	93.2	94.2
優しい言葉遣いをしている。	88.4	86.9	87.1	90.0	86.5	91.7	87.8	88.4	87.6	92.3	89.6	90.8
授業前に学習の準備をしている。	77.0	89.2	89.6	93.3	85.6	88.2	84.0	89.4	89.1	95.2	90.5	91.0
人の話を聞き発表している。	86.6	82.2	78.6	81.9	75.3	79.8	86.4	83.1	79.3	84.9	77.6	77.8
集団の場にきちんとした態度で臨めている。	91.0	90.0	89.8	94.5	90.4	94.5	90.5	90.6	91.1	95.6	93.3	94.5
進んで清掃・美化活動に取り組んでいる。	94.4	92.5	90.7	93.3	85.8	88.9	94.4	92.6	92.2	93.4	88.3	88.6

5 考察

【教科調査】

〈小学校〉

- ・全ての学年において、国語・算数の2教科ともに、平均正答率の県との差が2ポイント以内の範囲にあり、同程度である。
- ・国語の観点別の「書く能力」の平均正答率は、4・5年で5ポイント程度、6年で6ポイント程度低く、どの学年においても課題がある。記述式の設問に慣れさ

せることと、日頃の授業から、自らの考えを表現させる活動が必要である。

〈中学校〉

- ・全ての学年において、国語・数学・英語の3教科ともに、平均正答率の県との差が2ポイント以内の範囲にあり、同程度である。
- ・国語の観点別の「書く能力」の平均正答率は、1年で4ポイント程度、2年で2ポイント程度、3年で3ポイント程度低く、小学校同様にどの学年においても課題がある。記述式の設問に慣れさせることと、日頃の授業から、自らの考えを表現させる活動などを小中を通して取り組む必要がある。
- ・数学の2・3年の観点別の「数学的な見方や考え方」の平均正答率は、県同様に平均正答率が低く、課題がある。また、同設問においては無解答率も高いことから、日頃の授業の中で、生徒一人一人に課題についての考えを表現させる活動が必要である。
- ・英語の領域等別の3つの項目中「聞くこと」についての平均正答率は県全体で高く、本市はさらに県と比較して2～3ポイント程度高い。小学校からの英語活動で英語活動支援員や語学指導助手の配置によりネイティブな発音に触れていることが成果として表れている。さらに小中学校の連携を通して、他の領域についての英語力育成に努める必要がある。

【質問紙調査】（「規律ある態度」に関する調査を含む）

- ・勉強に対する好意度については、県同様に学年が進むにしたがい低下傾向にある。学習内容の難易度も学年の進行とともに上がっていくが、引き続き、授業において児童生徒の意欲を喚起した主体的な学びが必要である。
- ・学級生活の満足度については、全学年、ほぼ県と同程度であるが、今後も『楽しい学校生活を送るためのアンケート』（Q-U）調査の活用を図り、児童生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう配慮する必要がある。
- ・宿題については、全学年、県と同程度おこなっているが、中学2年について、予習は6ポイント程度、復習は11ポイント程度低い。中学2年については、特に予習復習を中心とした家庭学習の習慣化を図る必要がある。
- ・「規律ある態度」に関する調査では、県の目標値が80%以上であり、ほぼその目標は達成できているが、「授業前の学習準備」項目で小学4年が、「人の話を聞き発表する」項目で3つの学年が目標値に達していない。児童生徒がそれらの項目を自覚して身に付けられるような授業を展開する必要がある。

6 今後の取組等

[狭山市教育委員会「学力向上の取組」参照](#)

<http://home.sayama-stm.ed.jp/center/index/gakuryoku/index.htm>